

三重県新風水害対策行動計画（仮称） 課題解決テーマ（案）

1 県民がわがまちの風水害リスクを知り、自ら判断し行動するための対策を進める

（テーマの概要）

水害や土砂災害等の危険が差し迫ったとき、避難行動の実施を最終的に判断し、その結果に責任を持つのは、個々の県民である。そこで、県民が、事前に自分が住むまちや自宅の立地場所に潜む災害リスク（例えば、過去に洪水被害を受けたことがある、海拔ゼロメートル地帯に代表されるように標高が低い地域に居宅がある、土砂災害警戒区域内に居宅がある、道路途絶により孤立する可能性がある等）を知るとともに、刻々と変化する気象情報について強い関心を持って収集するなど、自ら判断し自ら行動することができるための防災啓発や環境整備など、必要な対策を進める。

（行動項目の候補案）

- ・風水害に関する防災啓発の実施（空振りを許容する文化の醸成）
- ・ホームページやメール配信サービス等による気象情報の提供
- ・過去の風水害記録のアーカイブ化
- ・風水害に関する防災教育の推進
- ・停電、断水等に備えるための個人備蓄の促進（孤立地区対策）
- ・土砂災害警戒区域の指定の推進
- ・市町によるハザードマップ等の作成・充実支援 等

2 風水害から特別な援護が必要となる人々を守るための対策を進める

（テーマの概要）

テーマ1の対策を着実に進めたとしても、水害や土砂災害等の災害リスクに関する情報を受け取ったり、自力では命を守るための避難行動をとることが困難な人々が存在する。地震・津波対策と同様に、地域ぐるみで災害時に特別な援護が必要となる人々を支援するための対策を進める。

（行動項目の候補案）

- ・災害時要援護者の個別支援計画作成の促進
- ・障がい者、高齢者等の災害時要援護者が参画した避難訓練の実施の促進
- ・災害時要援護者支援用具等の利用促進及び新たな支援用具等の研究・開発促進
- ・外国人住民を対象とした防災啓発の実施
- ・三重県避難所運営マニュアル策定指針の活用促進 等

3 風水害による被害を軽減するための社会基盤の整備を進める

（テーマの概要）

洪水、高潮、土砂災害など自然災害からの被害を軽減させる「減災」の観点から、県民の生命や財産を守る河川・海岸堤防や治山・砂防施設の整備などハード面での対策を進めるとともに、的確な避難に資するため、水位計の設置や市町と連携した土砂災害警戒区域の指定などソフト面での対策も進める。

（行動項目の候補案）

- ・洪水・高潮対策（河川・海岸堤防施設の整備、河川の堆積土砂の撤去、水位計の設置等）
- ・内水排除対策（排水機場の整備等）
- ・土砂災害対策（砂防えん堤、急傾斜地対策、土砂災害警戒区域の指定等）
- ・森林整備、治山対策（造林、間伐、斜面の安定を図る土留工等） 等

4 地域の風水害対策を担う防災人材を育成・強化する

（テーマの概要）

風水害対策の最前線において「公助」の役割を担う市町において、十分な災害対応力が発揮されるよう、特に市町職員の人材育成にかかる対策を進める。また、消防団や自主防災組織の活性化、みえ防災コーディネーター等の人材活用など、地域の防災力を高めるための対策についても進める。

（行動項目の候補案）

- ・市町職員に対する実践的な研修カリキュラムの提供と実施
- ・市町における図上訓練の実施支援
- ・地域防災力の中核を担う消防団の充実・強化
- ・自主防災組織の育成と活性化の促進 等

5 台風接近時における事前の防災・減災対策を講じる

（テーマの概要）

大規模災害からの被害を最小化するためには、災害が発生することを前提とした発災前の対応が鍵をにぎる。台風が近づいてくる発災直前期において、いつ、誰が、何をするのかをあらかじめ明確にしておくなど、タイムラインの考え方を取り入れた事前の防災・減災対策についての検討を進める。

（行動項目の候補案）

- ・タイムラインの考え方を取り入れた発災前直前対策の検討と試行
- ・市町における避難勧告等の判断・伝達マニュアルの作成（活用）促進
- ・海拔ゼロメートル地帯等における広域避難体制の検討
- ・災害時要援護者の保護にかかる検討の実施
- ・学校・園における児童生徒等の安全確保にかかる検討の実施 等

6 県災害対策本部における災害関連情報の収集・伝達機能を強化する

（テーマの概要）

災害対策本部は災害対策の中核となる組織であり、本部の活動を有機的に機能させるため、市町や防災関係機関との情報通信手段の確保に加え、災害関連情報を迅速かつ確実に収集・伝達・共有する体制を整備するなど、必要な対策を進める。

（行動項目の候補案）

- ・新たな情報プラットフォームの構築
- ・災害関連情報の収集・整理・分析態勢についての検討
- ・情報通信確保を目的とした訓練の実施
- ・公共情報コモンズの円滑な運用 等